

経営体育成基盤整備事業

農地の大区画化や汎用化、末端水路等の更新整備を通じ、担い手への農地集積・集約



農地の大区画化(米原市)

農地の大区画化や汎用化（水田の畑地利用）、末端水路等の更新整備を行うことで、高い生産効率、高収益作物の導入・生産拡大等を可能とする農業基盤を整えます。さらに、農地中間管理機構と連携し、将来の農業生産を担う経営体（担い手）への農地の利用集積・集約化を推進し、大規模で安定した農業経営の実現を図ります。

● 農地の区画整理



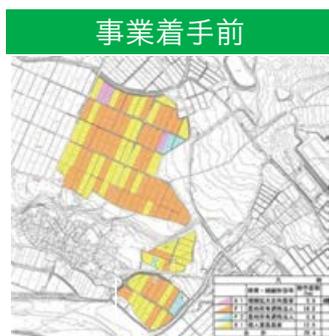
事業実施前（湖南市）



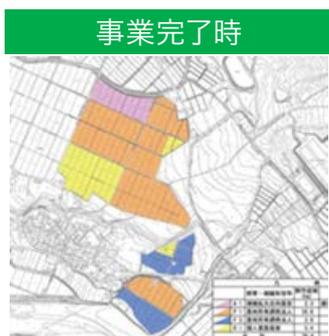
事業実施後（湖南市）

● 農地の区画整理

農地を所有、または借りること等により、担い手が利用する農地面積を拡大することを利用集積（集積）と言います。



事業着手前



事業完了時

地区面積	集積面積	集積率
28.4ha	16.4ha	57.7%

地区面積	集積面積	集積率
28.4ha	20.3ha	71.5%

	経営形態	担い手区分
個人営農農家	個人営農農家	—
規模拡大志向農家	規模拡大志向農家	担い手
規模拡大志向農家	規模拡大志向農家	担い手
農地所有適格法人	農地所有適格法人	担い手

◆ 農地の集約化

同一の担い手による経営面積が1ha以上のまとまりを有しているものを集約化と言います。

事例紹介

井之口地区(米原市)

井之口地区は、伊吹山地から琵琶湖に注ぐ、一級河川姉川左岸の中流域に広がる、井之口円形分水施設掛かりの水田地帯です。地区内の農地は未整備の不整形田、狭小な農道、また用排兼用の土水路であったため水利条件が悪く、営農に多大な労力を費やしており、安定した水管理が困難な状況でした。

このため本事業で、**農地の大区画化、道路、用排水路の整備を実施しています**。そして、事業を契機に地域内の大規模経営農家と集落営農法人に農地を集積し、大型機械の導入により生産コストの低減に努めています。

事業名/県営経営体育成基盤整備事業
 実施年度/令和4年度～令和10年度
 総事業費/477,000千円
 (ソフトを除く)

受益面積/23.4ha

事業内容/農業生産基盤整備

- ・整地工 23.4ha
- ・道路工 3.8km
- ・用水路工 3.7km
- ・排水路工 4.4km
- ・暗渠排水工 4.6ha

実施主体/湖北農業農村振興事務所



井之口円形分水施設



未整備の農地



ほ場整備工事状況



大区画に整備された農地

農地耕作条件改善事業

地域の多様なニーズに応じたきめ細かな耕作条件の改善を支援します。

地域計画を策定した区域において、農地中間管理機構と連携し、担い手への農地の利用集積を図るため、畦畔除去による簡易な区画拡大、汎用化のための暗渠排水、用水路の整備など、地域の実情に応じたきめ細やかな基盤整備を実施します。

●事業を契機にした高収益作物への転換

基盤整備を機動的に進めるとともに、輪作体系の検討や導入1年目の種子・肥料への支援など、高収益作物への転換に向けた計画策定から営農定着に必要な取組をハードとソフトを組み合わせせて支援します。



畦畔除去による区画拡大



暗渠排水による汎用化



キャベツ(高収益作物)の収穫(東近江市)



●スマート農業導入支援

基盤整備と一体的に自動給水栓やGNSS(衛星測位システム)基地局の設置等、スマート農業の導入を支援します。



GNSS基地局設置



自動給水栓の導入